

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島水産高等学校
学校番号(41)

評価実施日		令和3年2月26日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	小林 哲	学校評議員、宇和島地区少年警察ボランティア協会	
	濱崎 貞夫	保護者代表、PTA会長	
	桧垣 俊司	学識経験者、愛媛県農林水産研究所水産研究センター長	
	広沢 初志	地域代表、宇和島漁業協同組合専務理事	
	山本 浅幸	中学校関係者、宇和島市立城南中学校長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 家庭学習時間については、平日、休日、考査中とも昨年に比べて伸びている。考査中については、3時間以上であるが、平日、休日も含めて1日平均2時間以上の目標達成に向けて取り組んでほしい。基礎学力充実のための校内テストは、80点以上の生徒40%以上を目標にしている。昨年度と比較して、漢字が7回→8回、英単語が7回→6回、計算力6回→5回となっている。さらに頑張ってもらいたい。図書委員が本の魅力を紹介するなど工夫をして、本を読む生徒を増やしてほしい。</p> <p>(2) 生徒指導 1か年皆勤者の増加や身だしなみ指導での再指導の数が減少していることは良いことであるので、継続してほしい。コロナ禍での制限はあったが、生徒が楽しみにしている多くの行事が中止となったのは残念であった。次年度はできるだけ工夫をして開催してほしい。本年度は補導を控えている状態であるが、加害者にも被害者にもならないように指導してほしい。</p> <p>(3) 進路指導 進学においては、第1志望校合格を達成することができなかった。引き続き達成できる努力をお願いしたい。就職については、コロナ禍の状況の中、学校斡旋については、全員就職が決定し頑張っている。就職希望者の水産・海洋系分野への就職が55%であり、目標が到達できていないので、さらに努力をお願いしたい。</p> <p>(4) 業務改善 多くの職員が有給休暇を取得することができたが、まだまだ遅くまで勤務している教職員もいると思われる。来年度以降も継続して、働き方改革に取り組んでいく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none">・家庭学習時間の少ない生徒の原因を把握し、担任が家庭と連絡を取りながら改善に努め、粘り強く指導を継続していく。・資格取得のための学習など、指導に工夫を凝らし、生徒の興味・関心を喚起する。・図書委員の活動の充実を図るとともに、図書館を利用した授業やホームルーム活動等で、本に触れる機会を増やしていく。・基本的な生活習慣の確立に努めるとともに、安全教育にも全教職員で取り組んでいきたい。学校行事等については、中止にするのではなく、工夫を凝らしてできるだけ開催できる方向で取り組んでいきたい。・善悪の判断ができるように、厳しくも優しい目を持って、生徒指導に努めていきたい。・面接指導の開始時期を早めるとともに、就業体験などの体験活動の機会を拡大する。・応募前見学を勧め、地元中心に学科の特性を生かせる事業所への関心を高めさせる。・校務支援システムの活用を推進し、出退勤時間の管理、事務事業等の削減を図る。・校内衛生委員会に力を入れ、教職員が心身ともに充実した職場づくりを行う。
<p>2 説明・公表について</p> <p>(1) 各種だよりを発行し、学校の活動を理解してもらっている。</p> <p>(2) ホームページで情報発信をこまめにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・これからも様々な機会を捉えて、保護者や地域へ情報発信を行いたい。また、内容の充実にも努めたい。
<p>3 学校運営への提言</p> <p>(1) オンライン教育の充実等を検討してほしい。</p> <p>(2) 中学校の道徳の本にフィッシュガールが教材として掲載されている。今後とも連携をお願いしたい。</p> <p>(3) 学校の魅力を発信し、入学者数の確保に努めてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ICT教育の研修の機会を増やすとともに、各学科の魅力を最大限に発信できるよう、保護者・中学校への説明会や体験入学の実施に向け、準備を進めていきたい。・ホームページ等のこまめな更新に努め、中学校との連携を更に進めていきたい。